English

英語のきほん

中学３年生向け

受け身／現在完了形／関係代名詞／分詞の後置修飾／間接疑問文／仮定法 ほか
定期テスト・受験勉強の補助教材

※本資料は中学３年生で学ぶ内容のうち、基礎的な文法を抜粋し、まとめたものになります。
※「この資料だけで１００点が取れる！」という内容ではありませんが、日々の勉強の予習復習、定期テスト勉強、受験勉強の補助教材としてご活用いただけるように作成しました。
※内容には細心の注意をはらっておりますが手作り教材であるため、誤字や脱字、表現の誤りがある可能性があります。本資料の活用はご自身の判断と責任で行っていただきますようお願いいたします。
※学校で教わった内容と資料内の説明が異なるときは、学校の内容を覚えるようにしてください。
※本資料は家庭学習用の教材として公開しております。商用利用はお控えください。

Copyright 2026 マチ塾

Copyright 2026 マチ塾

受け身：be動詞＋過去分詞形

＝　～される / ～されている

・私の母は　この部屋　を掃除します。　　My mother cleans this room.

※主語を入れ替えて
「受け身」の文に書きかえます

・この部屋は　私の母によって　掃除されます。　　This room is cleaned by my mother.

※byは「～によって」という意味の単語

※時制を過去に変えます

※be動詞が過去形になります

・この部屋は　私の母によって　掃除されました。　　This room was cleaned by my mother.

肯定文
～です

英語は　多くの人に　話されています。　　English is spoken by many people.

疑問文
～ですか？

英語は　多くの人に　話されていますか。　　Is English spoken by many people?

Yes, it is.
No, it isn't.

否定文
～ではない

英語は　多くの人に　話されていません。　　English isn't spoken by many people.

Copyright 2026 マチ塾

by以外の前置詞を使う受け身

＝be動詞 ＋ 過去分詞形 ＋ by以外の前置詞
＝熟語（セット）として覚えます

※受け身の形でも by を使わない表現があります。形容詞に近い感覚で使われるため、
無理に「〜される」と訳さない方が自然な日本語になります

be known to ~	＝ 〜に知られている	be covered with ~	＝ 〜でおおわれている
be interested in ~	＝ 〜に興味がある	be surprised at ~	＝ 〜に驚く
be filled with ~	＝ 〜でいっぱいである	be pleased with ~	＝ 〜を気に入っている

・その歌手は多くの人に知られています。
The singer is known to many people.

・その山は雪でおおわれていました。
The mountain was covered with snow.

・私は日本の歴史に興味があります。
I am interested in Japanese history.

・私はその知らせに驚きました。
I was surprised at the news.
※「私はその知らせに驚かされた」と訳すと不自然になります

Copyright 2026 マチ塾

be made from ～

＝「～でできている」（見た目で材料が分かる：木・石・紙）

※製品を見て、一目で材料がなにか分からない時に使う表現です

be made of ～

＝「～から作られる」（見た目では材料が分からない：ワイン←ぶどう、紙←木）

※製品を見て、一目で材料がなにか分かる時に使う表現です

・チーズは　牛乳から作られます。　Cheese is made from milk.

・紙は　木から作られます。　Paper is made from wood.

・その壁は　石でできています。　The wall is made of stone.

・この机は　木でできています。　This desk is made of wood.

Copyright 2026 マチ塾

let ＋ 人 ＋ 動詞(原形)	＝ 人に～させる / ～させてあげる（許可）
help ＋ 人 ＋ 動詞(原形)	＝ 人が～するのを手伝う / ～するのに役立つ
keep ＋ A(人・モノ) ＋ B(状態)	＝ A（人・モノ） を B（状態） に保つ

・私は　あなたに　私のコンピュータ　を使わせます。（使わせてあげます。）

I let you use my computer.

・私に　あなたの電話番号を　教えてください。

Please let me know your phone number.

・私は　彼女が宿題をするの　を手伝いました。

I helped her do her homework.

・この地図は　私たちが美術館を見つけるの　に役立ちます。

This map helps us find the museum.

・あなたは　あなたの部屋を　きれいにしておくべきです。

You should keep your room clean.

・そのドアを　開けたままにしておいてください。

Please keep the door open.

Copyright 2026 マチ塾

show ＋ 人 ＋ (that) ＋ 文(S V)

＝　人に～ということを示す / 見せる

※thatは省略することができます

・この地図は　私たちに　駅がこの近くにあること　を示しています。

This map shows us (that) the station is near here.

・彼は　私に　素晴らしいアスリートであること　を示しました。

He showed me (that) he was a great athlete.

※showが過去形なので、be動詞も過去形になっています　＝　「時制の一致」

・彼は私に速く泳げることを示しました。

He showed me (that) he could swim fast.

・その本は私たちに地球は丸いことを示しました。

The book showed us (that) the earth is round.

※不変の真理や科学的な事実を言うときは、
showが過去形でも内容を表す文内は現在形にします

Copyright 2026 マチ塾

teach ＋ 人 ＋（that）＋ 文(S V)

＝　人に～ということを教える

※thatは省略することができます

・私たちの先生は　私たちに　チームワークは大切だ　と教えてくれます。

Our　teacher　teaches　us　(that)　teamwork　is　important.

・私たちの先生は　私たちに　チームワークは大切だ　と教えてくれました。

Our　teacher　taught　us　(that)　teamwork　was　important.

※teachが過去形なので、isも過去形になっています　＝　「時制の一致」

・彼は　私たちに　地球は丸い　と教えてくれました（教えました）。

He　taught　us　(that)　the　earth　is　round.

※不変の真理や科学的な事実を言うときは、teachが過去形でも内容を表す文内は現在形にします

Copyright 2026 マチ塾

be動詞＋形容詞＋that

＝be動詞 ＋ 形容詞 ＋（that）＋ 文（S V）
＝～だと〈確信して・うれしく・残念に〉思う

※that は省略することができます
※よく使う形容詞　→　sure「確信して」、glad・happy「うれしい」、sorry「残念で」、afraid「心配で」、surprised「驚いて」

・私は 彼が来る と確信しています。

I am sure (that) he will come.

・あなたに会えてうれしいです。

I am glad (that) I can see you.

・雨が降るのではないかと心配です。

I am afraid (that) it will rain.
※I'm afraid ~ は、言いにくいことや良くない内容を伝えるときに使います

・彼がその試験に合格して私は驚きました。

I was surprised (that) he passed the exam.

・私が行けなくて残念です。

I am sorry (that) I can't go.

Copyright 2026 マチ塾

want ＋ 人 ＋ to ＋ 動詞(原形)	＝	人に～してほしいと思う
tell ＋ 人 ＋ to ＋ 動詞(原形)	＝	人に～するように言う
ask ＋ 人 ＋ to ＋ 動詞(原形)	＝	人に～するようにお願いする

・私はあなたにこの本を読んでほしいです。	I want you to read this book.
・彼は私に手伝ってほしいと思っています。	He wants me to help him.
・母は私に部屋を掃除するように言いました。	My mother told me to clean my room.
・先生は生徒たちに静かにするように言いました。	The teacher told the students to be quiet.
・私は彼にドアを閉めるように頼みました。	I asked him to close the door.
・彼女は私に手伝ってくれるように頼みました。	She asked me to help her.
・母は私にピアノを弾かないように言いました。	My mother told me not to play the piano.

Copyright 2026 マチ塾

so that ＋ 文(S V)

＝ ～するために / ～するように

・あなたが宿題を終えられるように　私はあなたを手伝います。

I will help you so that you can finish your homework.

・あなたが宿題を終えられるように　私はあなたを手伝いました。

I helped you so that you could finish your homework.

※主節が過去の場合、so that節でも can → could がよく使われます

・海外で働けるように　私は英語を勉強します。

I study English so that I can work abroad.

・そのお年寄りが座れるように
彼女は椅子を動かしました。

She moved the chair so that the old man could sit down.

Copyright 2026 マチ塾

so ～ that …	＝ とても～なので…だ
too ～ to …	＝ ～すぎて…できない

この本はとても面白いので、私は一日で読み終えました。	This book is so interesting that I finished it in a day.
彼はとても疲れていたので、すぐに眠ってしまいました。	He was so tired that he fell asleep soon.

このカバンは重すぎて私は運べません。	This bag is too heavy for me to carry.
彼は忙しすぎて昼食を食べられませんでした。	He was too busy to eat lunch.

※"too ～ to …" は "so ～ that S can't …" に書きかえることができます

この問題は難しすぎて私には解けません。	This problem is too difficult for me to solve. ≒ This problem is so difficult that I can't solve it.

Copyright 2026 マチ塾

付加疑問文

＝　文 ＋ , 短い疑問の形 ？
＝　～ですよね？ / ～ですね？

※肯定文には「否定の形」を、否定文には「肯定の形」をつけます
※うしろの主語は代名詞（he・she・it・they など）に変えます
※be動詞の文は be動詞で、一般動詞の文は do / does / did で、助動詞の文は助動詞で受けます

・あなたは学生ですよね。

You are a student, aren't you?

・彼は先生ではありませんよね。

He isn't a teacher, is he?
※否定文なので、うしろは肯定の形になります

・あなたはサッカーが好きですよね。

You like soccer, don't you?

・ケンは昨日、奈良に行きましたよね。

Ken went to Nara yesterday, didn't he?

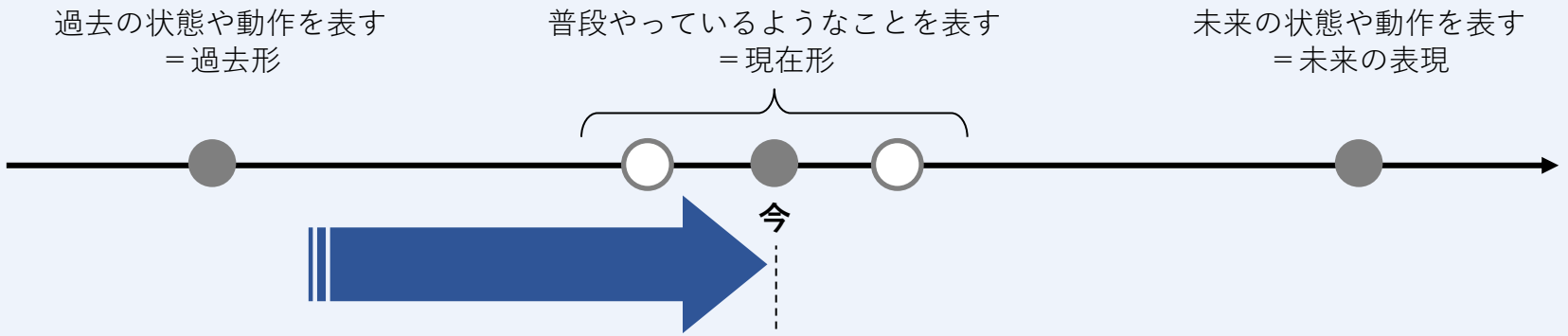
・彼はピアノを弾けますよね。

He can play the piano, can't he?
※答え方はふつうの疑問文と同じです　Yes, he can. / No, he can't.

Copyright 2026 マチ塾

現在完了形について

＝　have ＋ 過去分詞形



過去と現在が関係している状態を表すのが

現在完了形　＝　have　＋　過去分詞形

完了　（ついに）～した / （ちょうど）～し終えた

私たちは　ようやく奈良に着きました。

We have finally reached Nara.

経験　（いままでに）～したことがある

私は　以前にその映画を見たことがあります。

I have watched the movie before.

継続　（ずっと）～している / （ずっと）～の状態だ

私は　10年間ずっと奈良に住んでいます。

I have lived in Nara for ten years.

Copyright 2026 マチ塾

現在完了形（完了）

＝　have + 過去分詞形
＝　（すでに）～した / （ちょうど）～し終えた

※現在完了形の完了用法では、以下の単語がセットで使われることが多いです
➡「just」ちょうど、「already」すでに、「finally」ついに、「yet」もう・まだ
※"I have"は"I've"と省略して書くことができます

・私は　ちょうど宿題を終えたところです。

I have just finished my homework.

・その電車はすでに駅を出発しました。

The train has already left the station.

・あなたはもう部屋を掃除しましたか。

Have you cleaned your room yet?

※yetは疑問文では「もう」という意味

Yes, I have.
No, I haven't.

・彼はまだその本を読んでいません。

He hasn't read the book yet.

※yetは否定文では「まだ」という意味

Copyright 2026 マチ塾

現在完了形（経験）

＝　have ＋ 過去分詞形
＝　～したことがある

※現在完了形の経験用法では、以下の単語がセットで使われることが多いです
➡「once」１回・かつて、「twice」２回、「three times」３回、「before」以前に、
➡「ever」今までに、「never」いちども～ない

・私は　一度ピアノを演奏したことがあります。

I have played the piano once.

・あなたは今までにたこ焼きを食べたことがありますか？

Have you ever eaten takoyaki?

Yes, I have.
No, I haven't.

・彼は２回奈良に行ったことがあります。

He has been to Nara twice.

※have been to ~で「～に行ったことがある」という意味

・私は一度もギターを弾いたことがありません。

I have never played the guitar.

・あなたは何度、奈良を訪れたことがありますか？

How many times have you visited Nara?

Copyright 2026 マチ塾

現在完了形（継続）

＝　have + 過去分詞形
＝　（ずっと）～している / ～です

※現在完了形の継続用法では、以下の単語がセットで使われることが多いです
➡「for ~ 」～の間、「since ~ 」～以来・～から

・私は　１０年間奈良に住んでいます。

I have lived in Nara for ten years.

・彼は２０年間教師をしています。　He has been a teacher for twenty years.

・このお寺は２０２０年以降ずっとこのような状態です。　This temple has been like this since 2020.

・あなたはどれくらいの長く奈良に住んでいますか。　How long have you lived in Nara?

・私は昨年から奈良に行きたいと思っています。　I have wanted to visit Nara since last year.

Copyright 2026 マチ塾

現在完了進行形

＝　have + been + ~ing
＝　（ずっと）～している

※現在完了形の継続用法は「状態」の継続を表しますが、現在完了進行形は「動作」の継続を表します

・私は　３時間英語を勉強し続けています。

I have been studying English for three hours.

・彼は１０時間眠り続けています。

He has been sleeping for ten hours.

・２日間雨が降り続けています。

It has been raining for two days.

・私は奈良への旅行のことをずっと考えています。

I have been thinking about my trip to Nara.

・彼はどれくらい長くゲームをやり続けているのですか。

How long has he been playing the game?

過去形と現在完了形の比較

・財布をなくす編

Copyright 2026 マチ塾

I lost my wallet.

私は　財布をなくしました。（財布が見つかったかどうかは、この文からは分からない）

I have lost my wallet.

私は　財布をなくしました。（今も財布をなくした状態が続いている）

・奈良に行く編

He went to Nara last year.

彼は昨年　奈良に行きました。

He has gone to Nara.

彼は　奈良に行ってしまった。（今はもうここにはいない）

He has been to Nara.

彼は　奈良に行ったことがある。

Copyright 2026 マチ塾

how + to + 動詞(原形)	＝　どう～するべきか / ～のしかた
what + to + 動詞(原形)	＝　なにを～するか / ～すべきか

・私は　このコンピュータの使い方　を知っています。

I know how to use this computer.

・駅への行き方　を教えてください。

Please tell me how to get to the station.

・彼女は　私たちに　ギターの弾き方　を見せてくれました。

She showed us how to play the guitar.

・私は　次になにをするべきか　わかりません。

I don’t know what to do next.

・パーティに何を持っていくべきか　教えてください。

Please tell me what to bring for the party.

・彼は　彼女になんと言えばよいか　わかりませんでした。

He didn’t know what to say to her.

Copyright 2026 マチ塾

when + to + 動詞(原形)	= いつ～するか / ～すべきか
where + to + 動詞(原形)	= どこで～するか / ～すべきか
which + to + 動詞(原形)	= どちらを～するか / ～すべきか

・私は　いつ試合を始めるべきか　わかりません。
I don't know when to start the game.

・私に　いつ家を出発するべきか　教えてください。
Please tell me when to leave my house.

・彼は　どこに行くべきか　わかりません。
He doesn't know where to go.

・私に　どこでチケットを買えばよいか　教えてください。
Please tell me where to buy the tickets.

・私は　どちらを選ぶべきか　わかりません。
I don't know which to choose.

・私に　パーティにどのドレスを着ていくべきか　教えてください。
Please tell me which dress to wear for the party.

Copyright 2026 マチ塾

接続詞：though + S + V

＝　SがVするにもかかわらず / SがVするけれども

・彼女はとても忙しいにもかかわらず　彼女はみんなに親切です。

She is kind to everyone though she is very busy.

≒ She is very busy, but she is kind to everyone.

・私はその本を気に入りましたが　私はそれを買いませんでした。

I didn't buy the book though I liked it.

・とても高価だったが、私はその車を買いました。　I bought the car though it was very expensive.

・私は免許は持っていますが、車を持っていません。　I don't have a car though I have a license.

Copyright 2026 マチ塾

助動詞＋受け身

＝　助動詞 ＋ be ＋ 過去分詞形

※助動詞を使うので、助動詞のルールで疑問文・否定文を作ります

・その会議は　明日に開かれる予定です。

The meeting will be held tomorrow.

・このペンは　あのお店で買うことができます。

This pen can be bought at that shop.

※無理に「～される」と訳さない方が
きれいに訳をつくれる場合があります

・この部屋は毎日掃除されなければなりません。

This room must be cleaned every day.

・この本は多くの生徒たちに読まれるべきです。

This book should be read by many students.

・今夜は星がはっきりと見えます。

The stars can be seen clearly tonight.

・その計画は変更されるかもしれません。

The plan may be changed.

Copyright 2026 マチ塾

It is ~ for … to + 動詞(原形)

＝　～することは　…にとって　～だ

・私たちにとって　英語を勉強することは　必要です。

It is necessary for us to study English.

・彼にとって英語を勉強することは大切です。

It is important for him to study English.

・彼にとって英語を勉強することは大切ですか。

Is it important for him to study English?

・彼にとって英語を勉強することは大切ではありません。

It's not important for him to study English.

・私にとってこの本を読むことは難しかったです。

It was difficult for me to read this book.

中学で勉強する関係代名詞について

Copyright 2026 マチ塾

「おもしろい本」＝ an interesting book
「青いペン」＝ a blue pen

のように短い説明（interestingやblue）なら名詞の前に入れてしまえば問題ないですが、
「ピアノを上手に弾く友達」のように説明が文のように長いときはルールが変わります。

説明が文のように長い時に活躍するのが「関係代名詞」です。

私は友達がいます。

彼はピアノを上手にひきます。

I have a friend.

He plays the piano well.

※同じ人

I have a friend who plays the piano well.

先行詞（人）　関係代名詞（主格）

私は　ピアノを上手にひく　友達がいます。

Copyright 2026 マチ塾

主格の関係代名詞：which

＝　先行詞がモノや動物の時に使います
＝　「～する（モノ・動物）」
＝　「～される（モノ・動物）」

※主格の関係題名は省略できません

これは　バスです。　　それは　空港に行きます。

This is a bus.　　It goes to the airport.

※同じモノ

This is a bus which goes to the airport.

先行詞（モノ）　関係代名詞（主格）

これは　空港に行く　バスです。

・私は速く走ることができる犬を飼っています。

I have a dog which can run fast.

・これは漱石によって書かれた本です。

This is a book which was written by Soseki.

・テーブルの上にあるケーキはあなたのためのものです。

The cake which is on the table is for you.

・ここから見える山は富士山です。

The mountain which can be seen from here is Mt. Fuji.

Copyright 2026 マチ塾

主格の関係代名詞：who

＝　先行詞が人の時に使います
＝　「〜する（人）」
＝　「〜される（人）」

※主格の関係題名は省略できません

私は　友達がいます。　　彼は　上手にピアノを弾くことができます。

I have a friend.　　He can play the piano well.

※同じ人

I have a friend who can play the piano well.

先行詞（人）　関係代名詞（主格）

私は　ピアノを上手に弾くことができる　友達がいます。

・私には奈良に住んでいる友達がいます。
I have a friend who lives in Nara.

・ピアノを弾いている女の子を知っていますか。
Do you know the girl who is playing the piano?

・ドアのそばに立っている男の人は私の父です。
The man who is standing by the door is my father.

・私たちに英語を教えてくれた女性はとても親切でした。
The woman who taught us English was very kind.

Copyright 2026 マチ塾

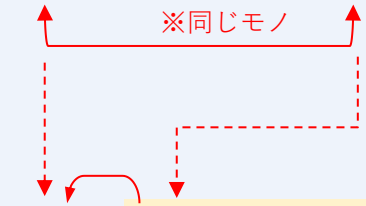
主格の関係代名詞：that

※主格の関係題名は省略できません

＝　先行詞が人・モノ・動物の時に使います
＝　「～する（人・モノ・動物）」
＝　「～される（人・モノ・動物）」

これは　最高のクルマです。　　それは　日本で作られました。

This is the best car.　　It was made in Japan.



This is the best car that was made in Japan.

先行詞（モノ）　関係代名詞（主格）

これは　日本で作られた　最高のクルマです。

・私には英語を上手に話す友達がいます。

I have a friend that speaks English well.

・あなたは公園を走っている少年と犬を知っていますか。

Do you know the boy and the dog that are running in the park?

Copyright 2026 マチ塾

tell + 人 + (that) + 文(S V)

＝　人に～ということを言う

※thatは省略することができます

・彼は　私たちに　練習は大切だ　と言います。

He tells us (that) practice is important.

・彼は　私たちに　練習は大切だ　と言いました。

He told us (that) practice was important.

※tellが過去形なので、be動詞も過去形になっています　＝　「時制の一致」

・彼は 私に 医者になりたい と言いました。

He told me (that) he wanted to be a doctor.

・彼女は 私に 地球は丸い と言いました。

She told me (that) the earth is round.

※不変の真理や科学的な事実を言うときは、
tellが過去形でも内容を表す文内は現在形にします

Copyright 2026 マチ塾

目的格の関係代名詞：which

＝　先行詞がモノや動物の時に使います
＝　「～が～する（モノ）」

※目的格の関係代名詞whichは省略することができます

これは　本です。　　私は　それ　を昨日買いました。

This　is　the　book.　　I　bought　it　yesterday.

※同じモノ

This　is　the　book　(which)　I　bought　yesterday.

先行詞（モノ）　関係代名詞（目的格）

これは　昨日私が買った　本です。

・私は母が私のために作ったケーキを食べました。

I　ate　the　cake　(which)　my　mother　made　for　me.

・彼女が今歌っている歌はとても有名です。

The　song　(which)　she　is　singing　now　is　very　famous.

・私は彼が奈良で撮った写真が好きです。

I　like　the　pictures　(which)　he　took　in　Nara.

Copyright 2026 マチ塾

make ＋ 人 ＋ 動詞(原形)	＝　人に～させる（強制）
let ＋ 人 ＋ 動詞(原形)	＝　人に～させる / ～するのを許可する

・彼女は　彼女の娘に　野菜　を食べさせます。（強制）

She　makes　her daughter　eat　vegetables.

・私は　彼に　英語　を勉強させます。

I　make　him　study　English.

・昨日　彼は　私を　車の中で　待たせました。（私の意思とは関係なく強制的に待たせた）

He　made　me　wait　in　the　car　yesterday.

・彼女は　彼女の娘に　スナック　を食べさせます。（許可）

She　lets　her　daughter　eat　snacks.

・私は　彼に　私のパソコン　を使わせます。

I　let　him　use　my　computer.

・昨日　彼は　私を　車の中で　待たせました。（車の中で待つことを許可した）

He　let　me　wait　in　the　car　yesterday.

Copyright 2026 マチ塾

see + 人 + 動詞(原形)	＝ 人が～するのを見る
hear + 人 + 動詞(原形)	＝ 人が～するのを聞く
feel + 人 + 動詞(原形)	＝ 人が～するのを感じる

・私は彼が道路を渡るのを見ました。
I saw him cross the street.

・私たちは鳥が空を飛ぶのを見ました。
We saw birds fly in the sky.

・彼女は誰かが自分の名前を呼ぶのを聞きました。
She heard someone call her name.

※動詞（原形）を~ing形にすると「している途中の場面」を強調するニュアンスになります

・彼は誰かが後ろに立っているのを感じました。
He felt someone standing behind him.

※動詞（原形）を~ing形にすると「している途中の場面」を強調するニュアンスになります

・私は彼が歌っているところを見ました。
I saw him singing.

Copyright 2026 マチ塾

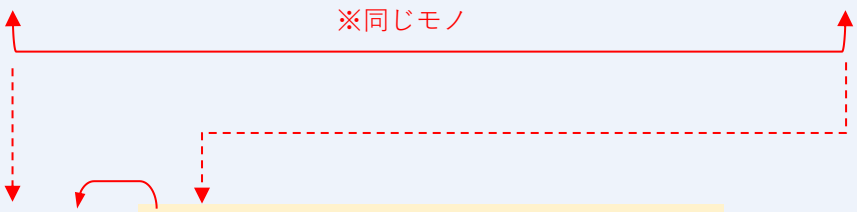
目的格の関係代名詞：that

＝　先行詞が人・モノ・動物の時に使います
＝　「〜が〜する（人・モノ）」と訳します

※目的格の関係代名詞thatは省略することができます

その映画は　面白かったです。　　私は　それ　を昨日観ました。

The movie was interesting.　　I watched it yesterday.



The movie (that) I watched yesterday was interesting.

先行詞（モノ）　関係代名詞（目的格）

私が昨日観た　映画は　面白かったです。

・私は母が私のために作ったケーキを食べました。

I ate the cake (that) my mother made for me.

・ケンが好きな女の子はとてもかわいいです。

The girl (that) Ken likes is very cute.

・私は昨日会った男の人の名前を忘れました。

I forgot the name of the man (that) I met yesterday.

Copyright 2026 マチ塾

後置修飾：現在分詞(~ing)

＝　名詞　＋　～ing
＝　「～している（人・モノ）」と訳します

※後置修飾は直前の名詞に説明を加える働きをします

公園を走っている　その少年は　ケンです。

The boy running in the park is Ken.

≒ The boy who is running in the park is Ken.

※関係代名詞を使って書きかえることができます

・私はドアのそばに立っている女性を知っています。

I know the woman standing by the door.

・英語を話している男の人は私たちの英語の先生です。

The man speaking English is our English teacher.

・その大きなバッグを運んでいる人は誰ですか。

Who is the person carrying the big bag?

Copyright 2026 マチ塾

後置修飾：過去分詞

＝　名詞　＋　過去分詞
＝　「〜される（人・モノ）」と訳します

※過去分詞の直前の名詞に説明を加える働きをします

これは　ケンによって撮られた　写真です。

This is a picture taken by Ken.

≒ This is a picture which was taken by Ken.

※関係代名詞を使って書きかえることができます

・漱石によって書かれた本は有名です。
The book written by Soseki is famous.

・彼は日本で作られた腕時計を持っています。
He has a watch made in Japan.

・ブラジルで話されている言語はポルトガル語です。
The language spoken in Brazil is Portuguese.

Copyright 2026 マチ塾

疑問詞を使った間接疑問文

＝　疑問詞　＋　S　＋　V

※疑問詞の後ろは、肯定文の語順になります

ケンはどこにいますか。　Where is Ken?

あなたはケンがどこにいるか知っていますか？　Do you know where Ken is?

※「ケンはどこにいるのか」という意味になります
※疑問詞の後ろは肯定文の語順になります

・私は彼が何を欲しいと思っているかを知っています。　I know what he wants.

・私は彼がなぜその本を欲しがっているかを知っています。　I know why he wants the book.

・私は彼がどこに住んでいるのかを知っています。　I know where he lives.

・私は彼がいつ日本に来たのかを知っています。　I know when he came to Japan.

Copyright 2026 マチ塾

if / whetherを使った間接疑問文

＝　if / whether　＋　S　＋　V
＝　～かどうか

私は彼が来るかどうか知りません。	I don’t know if he will come.
彼女が日本語を話せるかどうか教えてください。	Please tell me whether she can speak Japanese.
私は彼がこのテストに合格したかどうかわかりません。	I don’t know whether he passed this test.
あなたは明日雨が降るかどうか知っていますか。	Do you know if it will rain tomorrow?

※whetherの後ろには “or not” をつけることもあります

・彼が来るかどうかわかりません。	I don’t know whether he will come or not.

Copyright 2026 マチ塾

仮定法：if

＝　If　＋　S　＋　V(過去形)，S　＋　would (could)　＋　V
＝　もし～だったら、～なのになぁ（～できるのになぁ）

※仮定法は、現実と異なることや、実現の可能性が低いことを表す表現です。

もし彼が彼女の電話番号を知っていれば、彼は彼女に電話するだろうに。

If he knew her phone number, he would call her.

もし私が鳥だったら、私は空をとべるのに。

If I were a bird, I could fly in the sky.

※仮定法のif節内でbe動詞をつかうときは主語に関係なく「were」を使います

・もし私に時間があればショッピングにいくのに。　If I had time, I would go shopping.

・もし私に十分なお金があれば新しいクルマが買えるのに。　If I had enough money, I could buy a new car.

・もし私があなたならその本は買わないだろう。　If I were you, I wouldn't buy the book.

・もし今日晴れていたら私たちは外で遊べるのに。　If it were sunny today, we could play outside.

条件のif　と　仮定法のif　について

Copyright 2026 マチ塾

条件のif

「もし彼がこの本を好きなら、私は彼にそれをあげるつもりです。」

If he likes this book, I will give it to him.

・これは条件を表した文章になります。
・彼がこの本を好きかもしれないし、好きじゃないかもしれない状況で使います。
・実際に本をあげる可能性があります。

仮定法のif

「もし彼がこの本を好きなら、私は彼にそれをあげるのに。」

If he liked this book, I would give it to him.

・これは現実とは異なる状況を表した文章になります。
・「彼はこの本を好きではないが、仮に好きだったら…」という意味になります。

Copyright 2026 マチ塾

仮定法：wish

＝ I ＋ wish ＋ S ＋ V(過去形)
＝（今はそうではないけど）～ならいいのに

彼がスマホを持っていればなぁ。

I wish he had a smartphone.

- 海の近くに住んでいたらなぁ。 I wish I lived near the sea.
- 彼が野菜を好きだったらなぁ。 I wish he liked vegetables.

私がお金持ちであればなぁ。

I wish I were rich.

- 今日が晴れだったらなぁ。 I wish it were sunny today.
- 彼が今ここにいたらなぁ。 I wish he were here now.

私が鳥のように飛べたらなぁ。

I wish I could fly like a bird.

- ここにもっと長く滞在できたらなぁ。 I wish I could stay here longer.
- 彼のようにピアノを弾けたらなぁ。 I wish I could play the piano like him.

肯定文・疑問文・否定文のルールまとめ

Copyright 2026 マチ塾

		be動詞を使った文		一般動詞を使った文		canを使った文
		「＝」の役割	「存在」を表す	Do	Does	can
現在形	肯定文	あなたは幸せです。 You are happy.	彼は公園にいます。 He is in the park.	あなたはサッカーが好きです。 You like soccer.	彼はサッカーが好きです。 He likes soccer.	彼はピアノを弾くことができます。 He can play the piano.
	疑問文	あなたは幸せですか？ Are you happy? Yes, I am. No, I'm not.	彼は公園にいますか？ Is he in the park? Yes, he is. No, he isn't.	あなたはサッカーが好きですか？ Do you like soccer? Yes, I do. No, I don't.	彼はサッカーが好きですか？ Does he like soccer? Yes, he does. No, he doesn't.	彼はピアノを弾くことができますか？ Can he play the piano? Yes, he can. No, he can't.
	否定文	あなたは幸せではありません。 You aren't happy.	彼は公園にはいません。 He isn't in the park.	あなたはサッカーが好きではありません。 You don't like soccer.	彼はサッカーが好きではありません。 He doesn't like soccer.	彼はピアノを弾くことができません。 He can't play the piano.
過去形	肯定文	あなたは幸せでした。 You were happy.	彼は公園にいました。 He was in the park.	あなたはサッカーが好きでした。 You liked soccer.	彼はサッカーが好きでした。 He liked soccer.	
	疑問文	あなたは幸せでしたか？ Were you happy? Yes, I was. No, I wasn't.	彼は公園にいましたか？ Was he in the park? Yes, he was. No, he wasn't.	あなたはサッカーが好きでしたか？ Did you like soccer? Yes, I did. No, I didn't.	彼はサッカーが好きでしたか？ Did he like soccer? Yes, he did. No, he didn't.	
	否定文	あなたは幸せではありませんでした。 You weren't happy.	彼は公園にいませんでした。 He wasn't in the park.	あなたはサッカーが好きではありませんでした。 You didn't like soccer.	彼はサッカーが好きではありませんでした。 He didn't like soccer.	

肯定文・疑問文・否定文のルールまとめ（練習用）

Copyright 2026 マチ塾

		be動詞を使った文		一般動詞を使った文		canを使った文
		「＝」の役割	「存在」を表す	Do	Does	can
現在形	肯定文	あなたは幸せです。	彼は公園にいます。	あなたはサッカーが好きです。	彼はサッカーが好きです。	彼はピアノを弾くことができます。
	疑問文	あなたは幸せですか？	彼は公園にいますか？	あなたはサッカーが好きですか？	彼はサッカーが好きですか？	彼はピアノを弾くことができますか？
	否定文	あなたは幸せではありません。	彼は公園にはいません。	あなたはサッカーが好きではありません。	彼はサッカーが好きではありません。	彼はピアノを弾くことができません。
過去形	肯定文	あなたは幸せでした。	彼は公園にいました。	あなたはサッカーが好きでした。	彼はサッカーが好きでした。	
	疑問文	あなたは幸せでしたか？	彼は公園にいましたか？	あなたはサッカーが好きでしたか？	彼はサッカーが好きでしたか？	
	否定文	あなたは幸せではありませんでした。	彼は公園にいませんでした。	あなたはサッカーが好きではありませんでした。	彼はサッカーが好きではありませんでした。	

動詞の活用（不規則）

Copyright 2026 マチ塾

原形	過去形	過去分詞	意味
be	was/were	been	～です、～がある
become	became	become	～になる
begin	began	begun	始まる
break	broke	broken	～を壊す
bring	brought	brought	～を持って来る
build	built	built	～を建てる
buy	bought	bought	～を買う
catch	caught	caught	～を捕まえる
choose	chose	chosen	～を選ぶ
come	came	come	来る
cut	cut	cut	～を切る
draw	drew	drawn	～を描く
eat	ate	eaten	～を食べる
fall	fell	fallen	落ちる
feel	felt	felt	～を感じる
find	found	found	～を見つける
forget	forgot	forgotten	～を忘れる
get	got	gotten	～を手に入れる
give	gave	given	～を与える
go	went	gone	行く
grow	grew	grown	成長する
have	had	had	～を持つ
hear	heard	heard	～を聞く
hold	held	held	～をつかむ、持つ
keep	kept	kept	～を保つ
know	knew	known	～を知る
leave	left	left	出発する/置いてくる

原形	過去形	過去分詞	意味
let	let	let	～させる
lose	lost	lost	～を失う
make	made	made	～を作る
mean	meant	meant	～を意味する
meet	met	met	～に会う
put	put	put	～を置く
read	read	read	～を読む
ride	rode	ridden	～に乗る
run	ran	run	走る
say	said	said	言う
see	saw	seen	見る
sell	sold	sold	～を売る
send	sent	sent	～を送る
sing	sang	sung	歌う
sit	sat	sat	座る
sleep	slept	slept	寝る
speak	spoke	spoken	～を話す
spend	spent	spent	～を費やす
stand	stood	stood	立つ
swim	swam	swun	泳ぐ
take	took	taken	～を取る
teach	taught	taught	～を教える
tell	told	told	～に伝える
think	thought	thought	～と思う
wear	wore	worn	～を着る
write	wrote	written	～を書く